

令和8年1月 吉野町教育委員会定例会 議事録

日 時： 令和8年1月14日（水）午後2時00分～

場 所： 町中央公民館 4F 教育長室

出席者： 教育長 教育委員3名 事務局4名

1. 開会挨拶（土居教育長）

2. 審議案件

議第1号 後援名義の申請について

① 名称 詩人池田克己命日記念 第二回未来忌
申請者 吉野龍門が生んだ詩人池田克己顕彰会
代表 柴田 友紀

【資料1】

【資料により事務局の説明後、議論は無し、全会一致で承認】

3. 報告案件

報第1号 国補正予算「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の充当先について（学校給食費）

【資料2】

【資料により事務局の説明後、次の意見が出された】

【委員】食材相当額換算額はよく理解できる。人件費は誰が負担していることになるのか。

【事務局】人件費は、学校設置者負担になる。吉野町が負担している。

【委員】国の無償化に関する施策は理解できた。吉野町の負担は増大しないのか。

【事務局】国の補助額上限5,200円を超えた額は、町負担として支出を考えている。また、国の考える次年度からの無償化は小学生のみである。中学生の無償化も本町では検討する予定である。その場合、中学生対象の無償化にかかる経費は町が負担することとなる。

報第2号 吉野町地域クラブガイドライン・規約等について

【資料3-5】

【資料により事務局の説明後、次の意見が出された】

【委員】ガイドライン・規約・実施要項の内容はよく理解できた。教員の兼職兼業に伴う謝金の額はどのように決めているのか。

【教育長】国が示している額である時給を参考にして吉野町で設定している。これまで特殊勤務手当として支給していた。特殊勤務手当より謝金のほうが高い額で設定している。

【教育長】学校部活動の教育的効果は大変意義深いと考える。部活動を土・日も継続することを主眼におきすすめている。これまでどおりできる限り、受益者負担を軽減し、

生徒誰もが参加できる枠組みを構築していく。

【委 員】全国や近畿大会、他府県への遠征にもバスは出るのか。

【事務局】その都度、予算内で状況に応じてバスも活用できる場面で検討する。樋原等、近隣地で公共交通機関の整っている場所へは電車等を利用することを想定している。

4. その他事項

・令和7年度 市町村教育委員会研究協議会について

【資料6】

【資料により事務局の説明後、次の意見が出された】

【委 員】前回の参加時、途中で回線が切断されるなど不具合が起こった。迅速な対応に苦慮した。

【教育長】使用機器やWi-Fi状況等、不安な面があれば、役場に来て参加してはどうか。

【事務局】13:10の開会行事に間に合うように来庁していただければ、研修会に参加できるよう機材準備を整えておく。

・令和8年度 学校園への行事等参加依頼予定について

【資料7】

【資料により事務局の説明後、次の意見が出された】

【委 員】カヌー教室に子どもたちは楽しく参加していると聞いている。

【事務局】資料7に追記し教育委員会から依頼する形で、校園長会で提案する。

【予定議案には無いが次の意見が出された】

非公開事案

5. 閉 会 挨 捶 (松谷教育長職務代理)

次回開催予定　　日 時　　令和8年2月19日(木)
　　　　　　　　　午後2時00分～
場 所　　町中央公民館 4F 教育長室